

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターのぞみ(保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		2024年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2024年12月1日		2025年1月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特別支援教育を熟知したものが訪問しており、学校で行える支援についてその場で具体的に提案すること。	子どもの状態像(困難さの背景や特性)について説明し、数年先の状態像や目標を共有するようにしています。そこから今必要なことや支援について共有するようにしていますが、その際に子どものニーズと先生方の思いの両方を重視するようにしています。また、他の学校で行っている支援などは取り入れやすいよう、紹介するようにしています。	ご意見をいただいたように、提案したことが子どもに合致しないこともありましたが、まず家庭や事業所で取り組んでみて子どもに適していることが分かってから、学校に提案していくことも必要だと感じています。また、相互の連携をしておく中で、支援内容や方法の変更調整を行えるよう努めてまいります。
2	報告や相談を話し合い、電話、文書などで行い、訪問先の時間的制限に配慮しています。	訪問支援を受けることが先生方の負担とならないように心がけています。学校内の複数の先生方で情報を共有していただけるようメールや文書で報告をしたり相談に応じるようにしています。	今はこちらから働きかけることが基本となっていますが、先生方からもご連絡いただいたり、相談してみようと思ったださるよう訪問支援の充実、関係づくりに努めてまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員に学校で努めた経験がなく、学校の仕組みのことや先生方の思いに気づきにくい。	子どもや保護者の思いやニーズを中心に支援について考えた提案しがちであり、先生方の思いを十分に把握できていないことがあります。	先生方の思いや方針も十分に聞き、またそういった話ができる関係づくりに努め、子どものよりよい支援体制づくりにつなげていけるよう努めていきます。
2	訪問支援員の資格に偏りがあり、学習面や心理面でのアセスメントはできますが、作業療法的視点、理学療法的視点など多面的な視点で子どもをアセスメントできていない。	保育所等訪問支援に携われる様々な有資格者があまりいない現状です。	地域のニーズに応じて、保育所等訪問に携われる有資格者の配置について検討してまいります。
3			

## 公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達支援センターのみ（保育所等訪問支援）

公表日 2025年 2月 12日

利用児童数 7

回収数 6

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3			3		子どもにあった教材教具についてなるべく具体的にご提案していきたいと思えます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5			1		個室やパーティションで分けた場で面談を行っています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思えますか。	5	1				契約の依頼があった際にご説明しています。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6					こちらからお声掛けすることもあります。基本的には保護者の希望に応じて決定しています。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	5	1				現在、訪問支援員は、教員免許、特別支援教育士、社会福祉士、保育士などの資格を持った者が、2名配置しております。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	6					訪問時の観察だけでなく、保護者や先生方からも様子についてお聞きし、様々な情報から子どもについて理解しようと努めています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	6					長い目で見た上での今の子どもに必要な支援について考え、計画を立てています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	6					先生方の意見も聞いた上で、総合的に考えます。子どもの立場に立った支援内容を重視しています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	5			1		子どもへの支援、先生方への支援、ご家族への支援を考えながら、支援を行っています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	5	1				計画に沿って支援について先生方と考えていき、必要があれば計画の変更を行います。
11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	6					訪問サービスについて、学校の管理職の先生にまずご説明をした上で訪問しています。先生方と協力して子どもの支援を行えるよう配慮しています。	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5			1		契約の際や利用料に変更があった際に、ご説明しています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5		1			訪問支援計画について、ご説明しております。具体的な支援内容については、学校や本人の状況等によって、現場で変更する場合もあり、訪問後にご説明しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	1		1		現在、各子どもさんに応じた情報提供等は行いますが、一斉の研修や情報提供の機会といった場は設定できておりません。今後検討してまいります。
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	6					必要に応じて電話やメール等で情報を共有できるように努めております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	1				必要に応じてこちらからお声掛けし、面談を行ったり、電話で相談に応じるなどさせていただきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	6					子どもさんと保護者様のサポーターとしてかわらせていただいています。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				いざという時に頼ろうと思えます。信頼しています。 無回答1	ありがとうございます。今後も相談等に対して迅速に対応していきたいよう努めます。

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5				無回答1	就労されている保護者への時間的配慮や情報がより伝わりやすいようにという観点で、電話、文書、メールなどの伝達方法を使い分けています。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4	1			無回答1	訪問施設から何度かお電話やメールで相談を受けたことがあります。学校から相談をしていただくことは非常にうれしく思います。適切に対応をさせていただいています。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5				無回答1	休み時間、昼休みなど訪問時に話し合いの時間をとっていただける場合もあります。また、訪問時に時間がない場合は、放課後や後日改めてうかがうこともあります。また、電話やメール、文書で連携を行うこともあります。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5				無回答1	訪問後、対面の面談や電話、メールなどで情報の共有を行っています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4		1		無回答1	法人のホームページで自己評価の結果を公表しています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				無回答1	十分留意しております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4			1	無回答1	緊急時対応マニュアルを立てています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5				無回答1	安全計画を立てています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5				無回答1	訪問時子どもたちへのストレスにならないよう配慮しています。
	28	事業所の支援に満足していますか。	5				無回答1	ありがとうございます。今後も適切な支援をしていけるよう努めてまいります。

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			2025年 2月 12日	
こども発達支援センターのぞみ（保育所等訪問支援）		利用児童数			7（担任数6） 回収数6	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>対象児童だけでなく、学級全体の状況を見て取り入れやすい助言をいただき、実践につながっています。</li> <li>のぞみでの様子や彼の困り感・特性など伝えてくださり、支援に役立てています。</li> <li>「今」必要な支援をすぐに分かりやすく教えてくださったので、取り入れやすかったです。</li> <li>言葉や説明は分かりやすかったです。その後の指導においてそれらが取り入れやすいものとは限らないこともありました。</li> <li>実際の生活場面での困り感にどう対処すればよいのか、大変具体的な助言がいただけています。</li> </ul>	<p>なるべく具体的なご提案ができるよう努めてまいります。</p> <p>ご提案した支援が、取り入れやすいものではないこともあると思います。今後ともそういったご意見をいただきながら、子どもにとって最適で取り入れやすい支援を先生方と一緒に考えていきたいと思っています。</p>	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>色々な視点から助言をしていただき、大変勉強になっています。</li> <li>支援の仕方やアイデアを出していただき、ありがたく思っています。</li> <li>発達段階を踏まえた専門的なご助言をいただけて、とても参考になりました。</li> <li>支援に対する知識・技術などは参考とすることが多いです。けれども学習指導をする際にそれらが適合しないこともあります。</li> <li>専門的知見による指導は「なるほど」と納得が出来て、大変わかりやすいです。</li> </ul>	<p>子どもへの支援に関して、様々な視点から考え、柔軟な対応を考えるよう努めています。</p> <p>学習指導などに具体的に生かしていく際には、子どもの特性に応じて導入の仕方に工夫が必要であったり、子どもがそれを使う楽しさや必然性が必要だったりすることもあると思います。また、繰り返し変更調整が必要であると考えます。これからも先生方からご意見をいただき、連携させていただきながら、子どもたちのよりよい支援について考えていきたいと思っています。</p>	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>その場で解決が難しい事に関しては、後日メールや電話等で回答をいただくなど丁寧に対応していただいています。</li> <li>訪問や電話で相談したり、考えを深めたりしてもらっています。</li> <li>すぐに返答いただくこともあれば、後日、詳しく伝えていただくこともあり、丁寧に対応していただきました。</li> <li>適時適切に回答してもらっている。</li> <li>いつでも何にでもわかりやすく教えてくださるので大変相談しやすい。</li> </ul>	<p>お話だけでは不十分と感じた際には、絵や教材などを合わせてご報告させていただいております。また、カンファレンスのお時間を短縮するためにも、支援についてまとめてご報告させていただく場合もあります。その後の様子などもお電話で教えてくださるのは支援がうまくいっているか、そうでないかの確認等ができるので大変助かっています。</p> <p>今後も相互に連携を取りながら支援を行っていただければと思いますのでよろしくお願いたします。</p>	

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の要望をお聞きしたり、こちらの相談にもっていただいたりすることが前向きに支援をしていく力になっています。</li> <li>・状況を把握し、何が彼にとって良いのかいくつか案を出し、やってみることができました。</li> <li>・初めて特別支援学級の担任となり、不安ばかりでしたが、親身に困りごとについてご助言いただき、安心しました。</li> <li>・保護者が支援を要請されるとき、事業所→学校となっていることが多いです。</li> <li>・実態に即しての具体的なお話ができるので、これまでの成果や今後の留意点が明確になりました。</li> </ul>	子どもたちの支援について考えていくとともに、先生方のお力になれるようにと考えております。現在、訪問の依頼を保護者から受け、事業所から学校へ連絡をするようにしていますが、連絡系統について検討してまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足しています。</li> <li>・のぞみでの取組の様子と学校での様子を交流できるので満足しています。</li> <li>・大変満足しています。こちらからもご相談できるよう努めます。</li> <li>・今後ものぞみと連携を図ってまいります。</li> <li>・大変満足しています。ぜひ今後も連携をお願いいたします。</li> </ul>	今後、より子どもや保護者を温かくサポートしていけるよう、先生方と協力して訪問支援を行っていくよう努めてまいります。
其他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらの状況を踏まえ、即実践できそうな提案をしていただき、いつも感謝しています。</li> <li>・いつもののぞみでの様子と学校での様子を連携し、具体的な取組案を考えることができたり、やってみての様子を交流したりして、とてもありがたく思っています。</li> <li>・お忙しい中、児童の姿を参観して下さったり、詳しい資料とともに丁寧なご助言をいただいたりと本当にありがとうございました。今後も、専門的な立場からの指導面に対するご助言をいただけたらと思います。</li> <li>・連携して取組の方向性や方法について考えて行った結果、児童にとって必ずしも合致していないことが多かったです。そのため、今後も児童に適合するものを共に連携して考えていきたいと思えます。</li> <li>・学校の授業の関係もあり、お話する時間の確保が難しく、限られた時間の中ですが、連携して下さり相談させていただくことができています。</li> <li>・それぞれの児童の特性やそれに合った指導・支援方法を提示してくださるので、学校での取組のよさと課題を確認でき、大変助かります。よりよい取組にしていくために、今後も定期的に連携していただき、ご指導いただけるとうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。</li> </ul>				<p>たくさんのご意見ありがとうございます。訪問支援は普段子どもの教育に携わっていない者が、学校での支援について先生方と一緒に考えていくこととなります。子どもを取り巻く環境は、多面的であるため別の視点で子どもを見るという立場として、意義のあることと考えております。中には、現場での支援に適合しないものもあったかと思えます。訪問支援員は、子どもたちの支援者として、先生方と同じ立場のつもりで訪問支援にあたっています。今後も様々なご意見をいただきながら、連携を繰り返し行い、支援の変更調整を行っていきけるよう努めてまいります。</p> <p>授業の合間や放課後などにお時間をとっていただき、大変感謝しております。なるべく先生方のご負担にならないよう時間や連絡方法等を検討してまいりたいと思えます。</p> <p>今後ともよろしくお願いいたします。</p>	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども発達支援センターのぞみ（保育所等訪問支援）		2025年 2月 12日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
		環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		訪問支援員を2名配置しています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		訪問時の様子と提案した支援について共有し、改善点やより良い支援などの提案が出れば、すぐに再度訪問施設に提案するようにしています。	今後も複数名の職員で意見を出し合いながらより良い支援について検討していきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		今までは評価表は利用していませんが、随時保護者からの意見を聞き、支援に反映させています。	この度より保育所等訪問の保護者評価表ができたので、業務改善につなげていきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		職員からの意見を聞き、業務改善につなげています。	今後も行っていきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	第三者による外部評価は行っていません。	今後、法人全体で考えていきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		定期的に外部研修を受け、内部研修にて共有するなど行っています。	よりよい支援ができるよう、職員の資質の向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		保護者のニーズ、子どもの行動や様子の背景にある発達的特徴、教室での物的環境的環境を総合的にアセスメントし、支援の方向性や手段を計画しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		計画を含め、学校での様子などを様々な職種の職員で共有し、多面的な意見を取り入れるようにしています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		子どものニーズに基づいて作成し、子どものニーズについて共通理解を得られるよう努力しています。	今後も、子ども、保護者、担任の先生など子どもにかかわる支援者が共通理解をもてるよう努めていきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		計画に基づいて支援を行っています。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		必要に応じてJISI-RやURAWSSなど簡易なアセスメントツールを用い、他機関でとったWISCやK-ABCとバッテリーで評価を行うことがあります。	保育所等訪問支援で行うことのできるアセスメントについて、より情報を得ていきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		行動支援においては、行動について評価し具体的に支援方法を提案したり、学習面においては、困難さの背景に応じて教材等を提案するなど、先生方がすぐ実践できるよう具体的に提案するよう心掛けています。	先生方と共通理解をもって、子どもたちに支援していただける支援内容の提案に努めていきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		計画に基づいて支援を行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		事前に保護者から現在の様子をうかがい、支援を行うべきポイントや学校と検討すべきことを共有した上で訪問支援にあたっています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		事後には職員に報告し、振り返りをする中で更に伝えるべき内容などを整理し、電話やメール、文書で報告することもあります。	

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		学校の教育課程や物的、人的環境などがある程度把握した上で、できそうな支援について提案し、双方で検討していくようにしています。	先生方の意見を聞きながら、先生方のニーズにも合った訪問支援を行っていききたいと思います。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		毎回支援記録をとり、保護者や学校と訪問後に再度共有するなどしています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		定期的にモニタリング、計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		訪問支援を行った者が定期的に連携をとっています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		必要に応じて関係機関と連携をとり、状況を報告したり支援方針について提案をいただくようにしています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		移行支援が必要なケースは今年度はありませんでした。	移行するケースがあれば、連携を行っていきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		必要に応じて専門機関と連携をとっている。外部研修も受けています。	学習支援に関しては、毎年新しい情報が出ますので、研鑽に努めます。また、学校に関する法律等も学んでいきたいと思っています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		管理者が参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		訪問支援時には気づきや支援内容、方針について報告しています。また、子どもに変わった様子などあればメールや電話で連絡をいただくようにしています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		行えていません。	ご家族の声もききながら、必要に応じて検討していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時に説明を行っています。	変更等が生じた際には説明を行っています。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		初回訪問時には管理職の先生に事業の趣旨について説明を行っています。また、子どもに変化があったり支援が必要な状況になり、保護者から訪問の依頼を受けた際には、訪問施設に訪問目的を伝えています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		保護者の意向、子どもの意向をそれぞれうかがい、子どもにとっての最善の利益について一緒に考えるようにしています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		保育所等訪問支援計画に同意を得て支援を行っています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		必要に応じてメールや電話で相談をいただくようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		行えていません。	ご家族の声もききながら、必要に応じて検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		迅速に対応するよう努めています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		保育所等訪問に関する活動概要などの情報を発する通信等は発行しておりません。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		メールや電話、文書、絵にかきながら説明など必要性に応じた手段をとるようにしています。	今後もそれぞれの方に応じて対応していきます。

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		電話やメールで相談に応じられる体制を整えています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		休み時間、昼休みなど訪問時に話し合いの時間をとっていただける場合もあります。また、訪問時に時間がない場合は、放課後や後日改めてうかがいこともあります。また、電話やメール、文書で連携を行うこともあります。	カンファレンスや情報共有の機会がより充実したものとなるよう努めています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		文書、面談、電話などで共有するようにしています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		十分留意しております。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		お互いの立場を尊重し合い信頼関係を作るよう努めています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		各種マニュアルを策定しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全計画を立て、訓練等行っています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		ヒヤリハットなどを職員会議で検討し、再発防止に努めています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		虐待防止委員会を設け、委員会、研修、毎月の虐待に関するセルチェック等を行っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		身体拘束適正化委員会を設けています。現在は、身体拘束を行う必要のある子どもはいません。	今後必要のある子どもがいれば、適切に決定し、本人や保護者に適切な説明を行います。